



夢・挑戦

令和6年度 第11号

田鶴小学校 学校通信
令和7年2月10日

学校評価アンケート

1年間の学校教育活動を「スクールプラン」に則って進めてきました。その達成状況調査のため、児童と保護者の皆様にアンケートを行いました。児童、保護者ともに、「肯定的回答率」とは、「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合です。



【確かな学力の育成】

生活科「お店屋さん」(1年)

児童	肯定的回答%
ノートやタブレットなどに学習内容や自分の考えをしっかりと書けている	100
授業の内容はよくわかる	99.1
学習でタブレットを使うことは役立っている	94.4
学校で学んだことを家で復習している	81.5
本を読むことは好き(マンガ・雑誌を除く)	84.3

保護者	肯定的回答%
お子さんはノートやタブレットなどに学習内容や自分の考えをしっかりと書けている	84.2
お子さんは学校での学習内容がよくわかっている	81.5
お子さんは学校の学習内容に応じた家庭学習に取り組んでいる	61.9
お子さんは家庭で読書をしている(マンガ・雑誌を除く)	31.5

授業では、「わかる」「できる」授業の実現と、主体的に学習に取り組む態度の育成をめざして取り組んできました。また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」や、授業と家庭学習の一体を図ること、ICT等を活用した授業作りを行うことで、「自ら学ぶ子どもの育成」を研究してきました。今後も研究を進めていきます。

家庭学習については、児童と保護者の回答に少し差があるものの、内容を工夫しながら今後も取り組んでいきます。

読書については、多くの児童が本を読むことは好きだと答えていますが、もっとたくさん本を手にとって欲しいと考えます。興味がわくような様々な取組や図書室等の環境整備にさらに努めます。ご家庭でも、読書に親しめるよう環境作り(読み聞かせやご家族も読書をする等)にご協力をお願いします。

【豊かな心の育成】

児童	肯定的回答%
学校や家で自分から気持ちのよい挨拶や返事をしている	86.2
学校のきまりを守っている	96.3
いじめや嫌がらせはどんな理由があってもいけないことだと思う	98.1
縦割り班で違う学年の人とも協力できた	96.3
友達が困っていたら進んで助けている	98.1

保護者	肯定的回答%
お子さんは場に応じた挨拶や返事ができている	90.8
お子さんは学校のきまりや社会のルールを守っている	95.8
お子さんは安心して登校することができている	90.8

挨拶については、正門付近で児童会が取り組んだり、登校時担任が教室で迎えて挨拶したりしています。自分から進んで挨拶ができるよう引き続き取り組んでいきます。ご家庭でもご指導をお願いします。

お子さんは安心して登校できているかについて、10%ほどの保護者が否定的な回答をしています。学校は、さらに児童や保護者の方に寄り添っていけるよう取り組みます。

【ふるさとへの愛着を育む】

児童	肯定的回答%
総合や社会、生活科で自分の住んでいる町や人のことがわかった	96.3
学校で配られる手紙やプリントを家の人に見せている	89.8

保護者	肯定的回答%
学校は家庭や地域と連携した取組を進めている	89.4
学校からの情報伝達で学校からのメッセージや様子がよくわかる	86.9

地域の方々のご協力のお陰で、児童が地域へ出向く学習や、地域の方々から学校へ来て下さる出前授業など、今年度はより多くの学習の場ができ、地域学習が充実しました。

学校からの情報伝達については、より良く伝わるよう工夫を重ねていきます。

【健やかな身体の育成】

児童	肯定的回答%
運動会やマラソン大会、体育の授業で自分の目標に向かって最後まで頑張っていますか	96.3
体を動かすことは好きですか	93.5
夜は10時までに寝ている	75.0
1日当たりのスマホやゲームの時間は2時間以内	68.5
交通ルールや自然災害から自分の安全を守れる	98.2

保護者	肯定的回答%
お子さんは体育的行事や体育の授業に積極的に参加している	93.5
お子さんはすすんで運動に親しんでいる	82.9
お子さんは早寝・早起き・朝ご飯が身につけている	80.2
お子さんは1日のスマホやゲームの時間2時間以内	50.0
お子さんは交通ルールや安全に気をつけて行動できる	94.7

ほとんどの児童が、体育的行事に意欲的に参加できていたり、体を動かすことを好んでいます。

5月に実施した体力テスト(握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・シャトルラン・50メートル走・立ち幅跳び・ボール投げの8種目)は、昨年度課題のあった反復横跳びや立ち幅跳びが改善傾向ですが、握力以外の種目で全国平均より下回っている現状です。学校は、運動遊びを取り入れながら体力全般の向上を目指して指導していきます。ご家庭でも運動の機会を取り入れていただいたり、可能な範囲で徒歩での通学を進めていただいたりご協力をお願いします。

自由記述欄	回答
タブレット学習が多すぎるのがとても心配です。自分で調べたり考えたりせずに、すぐに答えに行きつくのも、目や身体への影響も、少し今後検討してほしいです。	端末がなかった頃より、鉛筆で書くことは減っていると思います。国の方針に則り、有田市も早々に整備されて以降、タブレットドリルなどを使っています。反面、小学生が鉛筆をもつことの意義も否定できません。今後とも、端末と鉛筆やノートの両方を上手く組み合わせながら「個別最適な学習」と「協働的な学習」について研究します。
デジタル化、タブレット学習が増えてから、ノートに字を書くことを避ける傾向があるように思います。鉛筆を持たないことによる学力低下を懸念しております。スウェーデンのように脱デジタル化をし、ノートと鉛筆を復活させて欲しいと思っております。	本校のスクールプランの中に「ふるさとへの愛着を育む」という項目があります。その中で、水産教室、ヒラメの放流、その他の地域学習を学年ごとに計画的に行っています。また、春の遠足では海岸のゴミ拾いを行ってきました(6年度は地ノ島等へ)。今後とも、様々な学習の中で地域を愛し、大切にしていきたい子どもたちの育成に取り組めます。
古い空き家が通学路に多く倒壊の恐れあり。草も生え、まっすぐ道を歩けない。海にごみが多く、子供達も海に関心を持って海に感謝する教育が必要だと思います。海のクリーン作戦をしてゴミを拾う活動をして次世代にきれいな海を引き継げるようにしていけないとダメだと思います。	通学路が空き家ばかりで倒壊の恐れがある古い家が多くて危険です。海にゴミを捨てる人がいるので教育に悪い。子供達には海をきれいに次世代に繋げる行動を取れる教育が必要。海のゴミをみんなでひらえばいいと思う。
とても楽しんで学校へ行けています。	誰もがそう思える学校を目指します。



七輪で昔の体験(3年)



「大きくなったよ発表会」(2年)

このアンケート結果では、肯定的な回答をした方の%を取り上げましたが、否定的な回答をした方もいらっしゃいました。その方の思いも大切な意見として、改善策を取り入れながら、今後の学校運営に生かしていきたいと考えます。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。